

# 校内研究

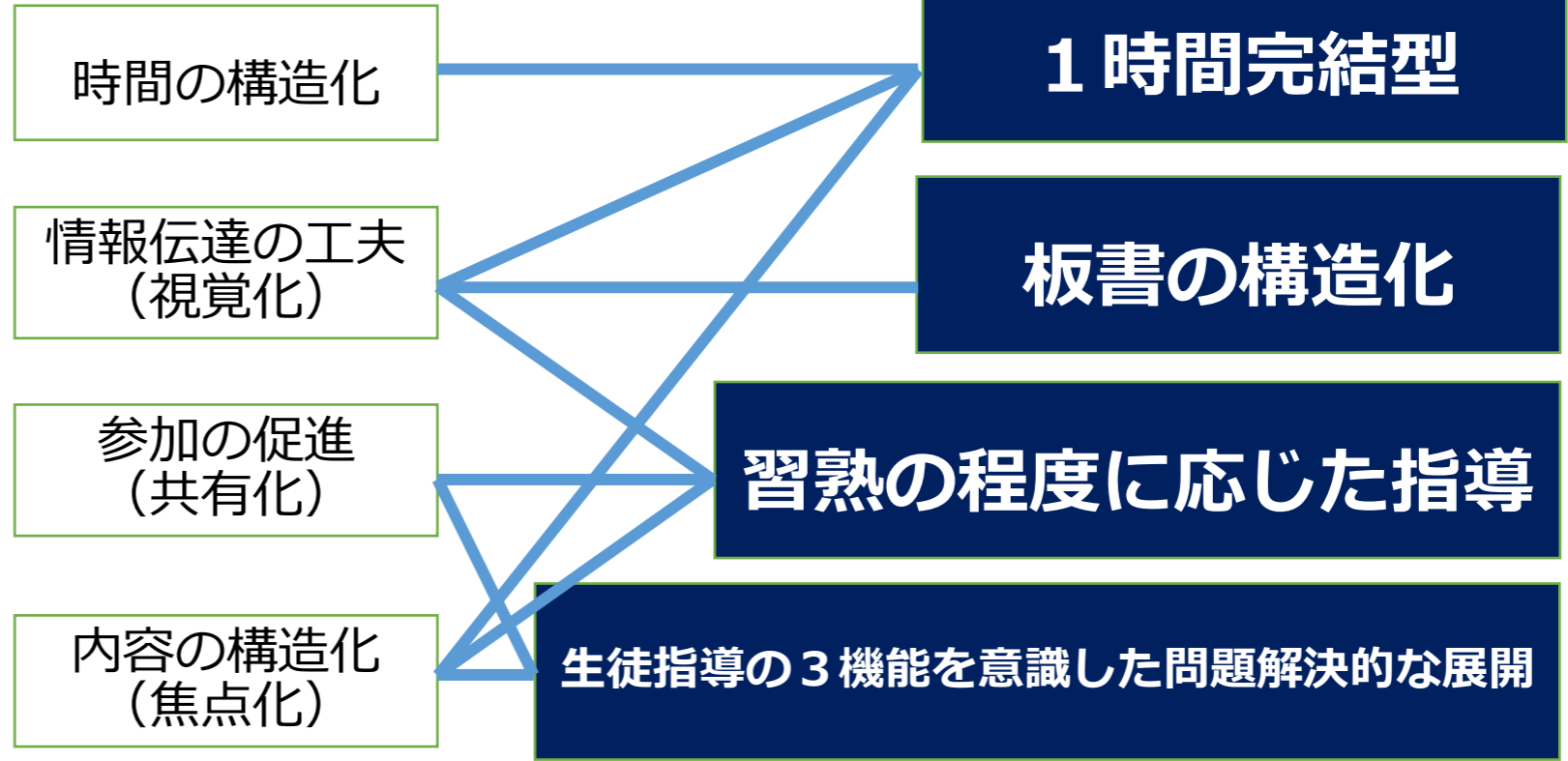
【研究主題】 **すべての子どもが「わかる」「できる」授業をめざして  
～授業のユニバーサルデザイン化を通して～**

【研究仮説】 授業者が指導内容や子どもの実態に合わせ焦点化した付けたい力を設定し、すべての子どもが何を考えるかわかる「めあて」「課題」に対応した「まとめ」「ふりかえり」など一時間の授業の中で視覚的に授業を構造化していけば、「わかる」「できる」楽しさを実感できる子どもが育つであろう。

# 授業のユニバーサルデザイン化

## 授業づくりの視点

- ◇時間の構造化・・・「めあて」「課題」「まとめ」「ふりかえり」のある授業を繰り返す。  
学習計画を提示する  
1時間の授業の流れを提示する。
- ◇情報伝達の工夫・・・視覚化（板書、ノート、ワークシート、教具、思考ツール、ICT、席替え  
机の配置、声の抑揚、ふりがな、大事な言葉を大きくなど）  
板書とノートの一体化
- ◇参加の促進・・・ペア、グループ活動を取り入れ共有化する。  
何を聞か 何を話すか わからないことを質問できる  
教師はつなぐ・戻す役
- ◇内容の構造化・・・考えたくなる「課題」「めあて」に対応した「まとめ」「ふりかえり」  
考えるためのヒント  
学習の筋道（パターン化）  
学習内容の細分化（スモールステップ化）  
学習内容の**焦点化**（付けたい力、授業の山場）をして、展開を考える。

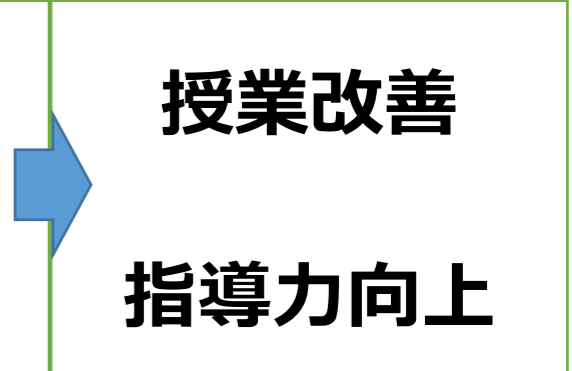


# 学級集団のユニバーサルデザイン化

- ◇場の構造化・・・環境整備のこと、つまり整理整頓  
○刺激量の調整 授業の効率を上げるために、授業に関係の無い余計な物は見えないようにする。  
音を減らす工夫など。
- ◇ルールの明確化・・・学校生活のルールや授業中のきまり 学習規律  
○学習規律をはっきり示し、暗黙のルールを作らない。  
○ルール違反を認めない学級の雰囲気を作る。
- ◇子ども同士、認め合うことができる学級  
○学校生活のルールや授業中のきまりを明確にしている学級  
○子ども同士、お互いの考えを認め合うことができる学級  
○自分の思いや考えを言える学級  
○いじめを許さない学級

# 本年度、授業をする上で意識していきたいこと

- ①視覚化  
考えたくなる「めあて」「課題」に対応した「まとめ」「ふりかえり」になっているか？
- ②焦点化  
付けたい力を焦点化した展開になっているか？



**新大分スタンダード** 新大分スタンダードで 主体的・対話的で深い学びを実現！

「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の授業

- 1 1時間完結型**  
「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」  
\*学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」  
\*学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」  
\*追究すべき事柄を明確にする「課題」、追究した結果を明確にする「まとめ」
- 2 板書の構造化**  
\*思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書
- 3 習熟の程度に応じた指導**  
\*「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り  
\*「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫
- 4 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開**  
主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）を創造する学習展開  
\*各教科等の見方・考え方を働かせて展開する  
「課題設定→情報収集→整理分析→まとめ表現交流→振り返り評価」等の学習過程の繰り返しの中で行われる  
・知識の関連付け、問題の発見・解決、情報を精査した考えの形成、思いや考えに基づく創造  
・様々な人との対話・協働による自分の考えの深化・拡充

H30.3月版